

5 年生児童の保護者の皆様

苫小牧市立明野小学校長 谷川 充穂

平成 29 年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果について

早春の候、保護者の皆様におかれましては、ますますご清栄のことと拝察申し上げます。

また、日頃から本校の教育活動に対しまして、ご理解とご協力をいただき感謝申し上げます。

さて、昨年の 1 学期に実施しました全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果が文部科学省、北海道教育委員会から公表され、苫小牧市の子どもたちの体力の状況についても、苫小牧市教育委員会から公表されました。

本調査は、子どもの体力の低下している状況にかんがみ、全国的な子どもの体力の状況を把握・分析することにより、子どもの体力の向上に係る施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、そのような取組を通じて、子どもの体力の向上に関する継続的な検証改善サイクルを確立するためのものです。

つきましては、本校 5 年児童の状況と考察をまとめましたので、次のとおりお知らせします。

記

1 調査の概要

(1) 実施日

平成 29 年 6 月

(2) 調査対象

小学校第 5 学年

(3) 調査内容等

① 実技に関する調査

握力、上体起こし、長座体前屈、反復横跳び、20m シャトルラン
50m 走、立ち幅とび、ソフトボール投げ

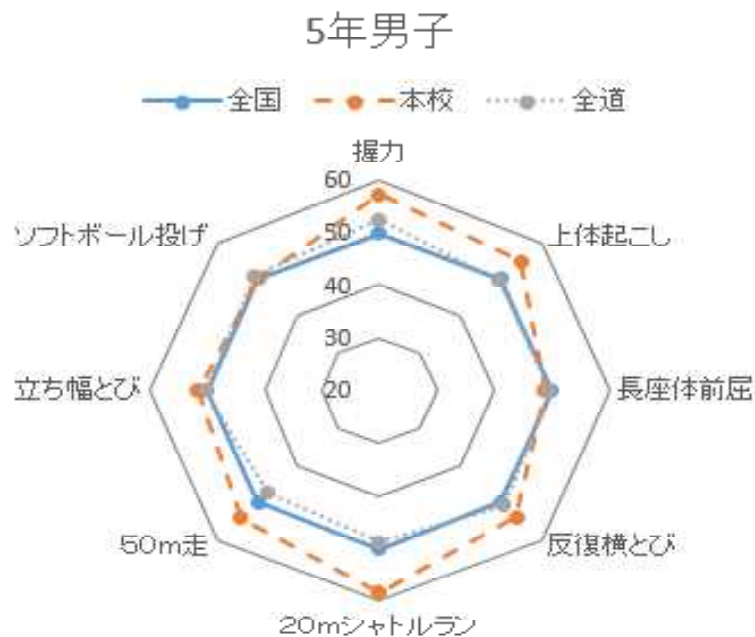
② 運動習慣等に関する質問紙調査

③ 学校に対する体力の向上に係る取組に関する質問紙調査

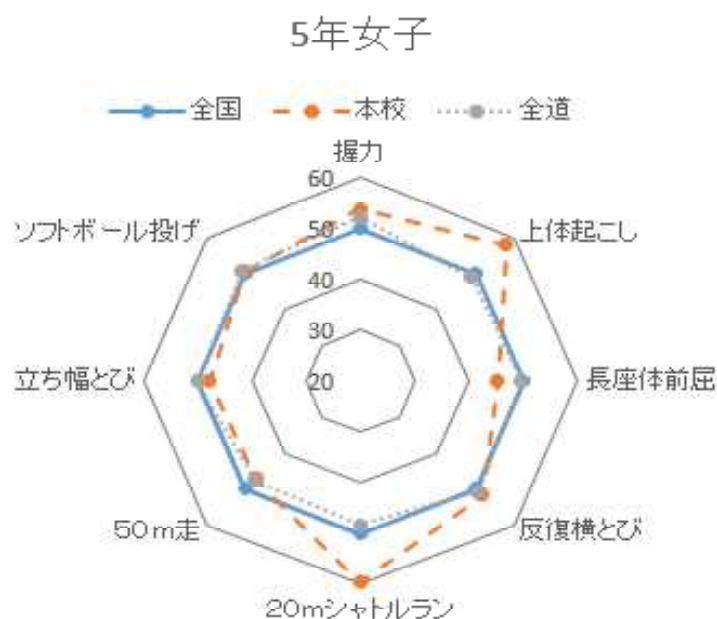
2 本校の結果と考察

(1) 実技に関する調査における全国・全道平均と本校の比較

① 男子



②女子



* 比較の仕方 全国平均値(50)に対する本校の相対的な位置について示しています。

(2) 今年度の傾向

①実技に関する調査

- ・男子は、長座体前屈以外は全国平均を上回っている。特に握力・20m シャトルラン・50m 走では5ポイント以上上回っている。
- ・女子は、長座体前屈・50m 走・立ち幅跳び以外は、全国平均を上回った。特に上体起こしと20m シャトルランで5ポイント以上上回っている。
- ・男女共に長座体前屈が全国平均を下回っている。

②運動習慣・生活習慣に関する調査

- ・男女共に約90%の子が、「運動が好き」、「やや好き」と答えている。
- ・体育の授業は楽しいかとの質問に、男子は92%、女子は99%の子が「楽しい」または「やや楽しい」と答えている。
- ・『朝食を食べない日が多い』と回答した児童が男子 7.1 % 女子 3.0 % 見られた。
- ・スマホ、テレビの視聴時間が平日、休日ともに『5時間以上』と答えた児童が、全国、全道平均に比べ男女ともに多い。

3 学校の今後の取組

- ・現在取り組んでいる「さわやかリズム週間」を生活習慣の改善を目指し、次年度も継続する。
- ・朝食の有無やスマホの利用時間などについて学校だよりや保健だより、懇談会などを通して、各家庭へ啓発していく。
- ・外遊びの奨励を進め、多くの種目で男女ともに全国平均を超えることができた。子ども達が体を動かす機会を多くし、運動に親しむ取組を継続していく。
- ・全国平均を下回った長座体前屈を伸ばすためにストレッチやおしりで歩く練習などの体作り運動を体育の中で取り入れる。
- ・運動の楽しさを感じることができるよう体力づくりや体育の学習を工夫する。
- ・学校内に、遊びの中で日常的に体力づくりを行える環境を整えていく。
- ・体力テストの結果を十分におさえ、日頃の体力づくりや運動の取組が、効果的な取組につながるようする。